



問 石丸山公園遊具の再設置検討は

答 農村振興総合整備事業完了前に一定の整備方針を出す

問 石丸山公園の遊具は一部破損し、撤去したがそのままの状態が続いている。再設置についてのその後の検討は。

町長

石丸山公園南側水路、遊具を設置している箇所周辺水路については、平成22年度から事業が始まる農村振興総合整備事業の予定箇所であり、現在地元の水路管理委員会と工事方法を協議しているが、遊具の設置等については、工事完了後が適切ではないかと考えている。

また、遊具の規模や憩いの広場としての活用方法等の検討については、町民の皆さん、特に子育て中の皆さんの声を聞く場を早期に設定し工事完了前には一定の整備方針を出したい。

問

当初設置目的は、公園の自然と環境を重視し、自然に触れ合い、自然と語り合え

る公園として維持・管理を行い、町民皆様の憩いの場となるよう整備に努めたい。また、利用者が増加していくには何ができるかなど、精査・検討していきたいと答弁されている。その後、精査・検討されたのか。

町長

その後の進み具合は、建設課内部だけの検討に終わっており、住民の皆様の声を聞くに至っていない。

このことは、私の指導力不足であり、深く反省している。利用者の増加対策としては、地域の皆さんと一緒に協議しながら、取り組んでいきたい。

石丸山公園を活性化させるため、一昨年から実行委員会により「桜まつり」が実施されており、さらには「ひしの再生」「螢の再生」

にも、住民との協働作業で実施されていると聞いている。このように、施設の整備だけでなく、地域の力により

問 石丸山公園に設置されている焼却炉の修理について伺う。

町長

この焼却炉は、法律で定める焼却構造基準に適合しない設備であるので、撤去するようにしている。

石丸山公園が活性化することが大事であり、利用者の増加に繋がっていくものと考えている。



楽しそうに遊ぶ子どもたち



桜まつり